

## ◎知事あいさつ要旨

おはようございます。今日は、皆さん方大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

昨日、来年度の大分県の予算が議会で承認をいただきました。皆さんのご指導のおかげで、大変景気が悪くて、税収の見通しも悪い中でございましたけれども、こういう時期だからこそ景気対策、雇用対策に重点を置かなければいけないということで、敢えて積極予算を組ませていただきまして、僅か0.6%ですけれどもプラス予算にさせていただきました。

ただ、おかげをもちまして行革が進んでまいりましたので、その中でも人件費はマイナスの1.1%ということで減じて、その分を事業費に回して事業費は1.4%の増というような、景気刺激型の予算ができたのではないかと考えております。

今年度第1回の委員会だったと思いますけれども、こういう変化の激しい時期だから、財政調整用基金はできるだけ確保していければということで、全体の予算の5%、300億円ぐらいを目処にきちんとしなないといけないというお話もいただきましたけれども、そのことについても今度の予算で、来年度末には300億円に近い財政調整用基金が確保できるのではないかと考えております。また、ご心配をいただいております県債残高でございますが、残高そのものは1兆500億円を上回り、少し増えている見通しでございますけれども、これは実質的な地方交付税といってもいい臨時財政対策債が増えてしまって、1兆500億円を超えるという総額になりそうでございます。ただ、臨時財政対策債を除きますと、この3年間は、8千200億、8千100億、そして来年度末には7千900億円ぐらいにだんだんと実質的な借金は減っているというような数字です。これもひとえに皆さま方のご指導のおかげでございまして、積極予算を組みながらも、少し財政再建にも方向付けができたのではないかと考えているところであります。

今日もまた、行財政改革にあたりまして、いろいろとご審議していただかなければならない点についてお諮りをしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。